

平成26年度全国高等学校総合体育大会

秩父宮記念杯 第65回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会

第59回全国高等学校自転車道路競走中央大会

監督会議資料

きら

煌めく青春 南関東総体 2014



君の汗輝一滴勝利の雫

笛吹市実行委員会

この資料は監督会議で使用しますので印刷してご持参ください

平成26年度全国高等学校総合体育大会 大会特別規則

競技運営委員長 坂井田米治
総務委員長 中梶 秀則
審判長 高畑 秀規

トラック・レース、ロード・レース共通事項

2014年(公財)日本自転車競技連盟規則、および大会特別規則で実施する。なお、高体連専門部ホームページ (<http://www.hs-cycling.com/>) からダウンロードできる最新の競技規則解説を監督および競技者は熟読しておくこと。また、下記事項に示された各場所については「参加案内」を参照すること。

1. ライセンスコントロール (選手・監督受付)

- (1) 日 時 8月5日(火) 11:50~12:50
- (2) 場 所 笛吹市スコレーセンター ホワイエ (1フロビー)
- (3) 要 領 各学校の監督は上記の場所・時間内に選手の競技者ライセンスを持参し提出すること。
なお、ライセンスの返却は、開会式終了後受付場所において行う。ライセンスは配布されたIDカードの裏側に入れ、ロード・トラック会場では見えるように携帯すること。

※会議終了後までに、「身体形態上の理由による適用免除申請」と「アンケート」を提出してください。申請書およびアンケートは(公財)全国高体連自転車競技専門部のホームページからダウンロードするか、受付時に申し出てください。

2. 記録の配信

- (1) スタートリスト、リザルト等のコミュニケは記録速報板に掲示するので配布はしない。
- (2) リザルトは、大会モバイルサイトに随時アップする。アドレス等詳細は、プログラムに掲載する。

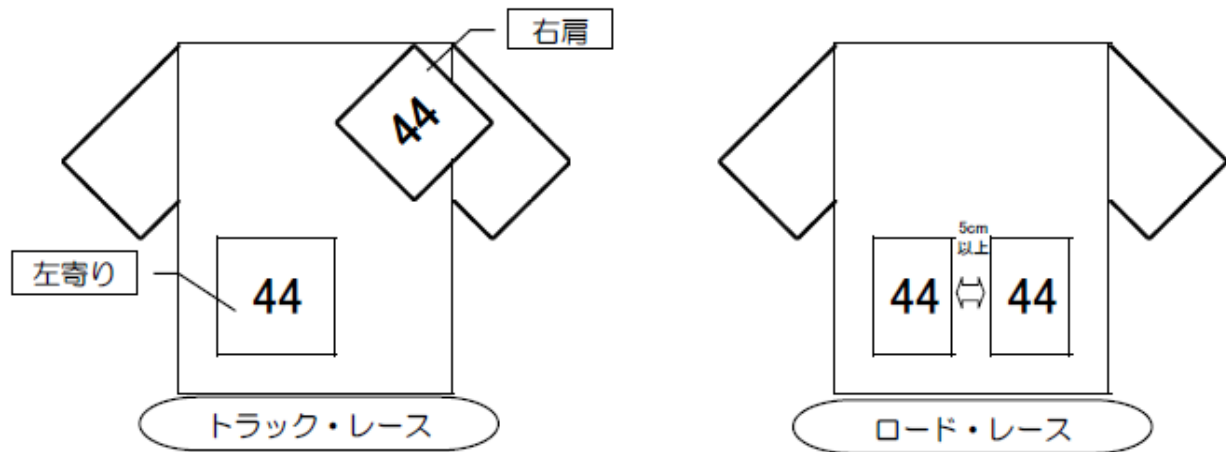
3. ヘルメット

- (1) 選手はJCF公認およびJKA認定(競輪用)ヘルメットを練習時も使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット、劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。
- (2) JCF公認条件に「タイムトライアル系の競技においてのみ使用できる物」と注釈がついている製品は、下記の種目の競技時のみ使用を認める。
 - ・スプリント予選(200mタイムトライアル) ・男女タイムトライアル(以下TT)
 - ・3kmインディヴィデュアルパーシュート(以下3kmIP)
 - ・チーム・スプリント(以下TSP) ・4kmチーム・パーシュート(以下4kmTP)

4. ゼッケン

- (1) ボディ・ナンバー(男子白地に黒数字・女子ピンク地に黒数字)は下図を参考とし、1枚の場合は腰部中央に取り付ける。

- (2) ロード・レースは①ボディ・ナンバー（シード選手は黄色字に赤数字）②フレーム・プレート（ヘッドチューブ左側またはサドル下）③ヘルメット・ナンバーシール（左右）を使用する。



トラック・レース

1. 禁止事項

- (1) 競走種目における集団走行時のハンドルの持ち替え行為
- (2) アップオイル等を体に塗ること（走路保護のため）
- (3) レーサーシューズでの走路の歩行
- (4) 選手村以外での選手ピット設営

2. 走路入退場方法

- (1) 入退場 バック側「入退場口」のみとする。

3. 招集・自転車検査

- (1) 招集・自転車検査所は選手村～入退場口の間設置し、出場および装備の確認、ポジション選択用紙の提出並びに自転車検査を実施する。
- (2) 招集時間は各自の出走予定時刻の15分前までとする。
- (3) TSP, 4kmTPに出場するチームは、出走日の8:30までに招集所に出走するメンバーを届け出ること。
- (4) ブリヂストン社製PCPT=TTタイプについては使用を認めるので、申請を行わなくてよい。
- (5) 自転車検査を受けた後は選手村に戻ることなく速やかに走路内へ入場すること。

4. ヘルメット・カバー使用種目

4km速度競走, ポイント・レース, スクラッチ, ケイリン

5. スタート方法

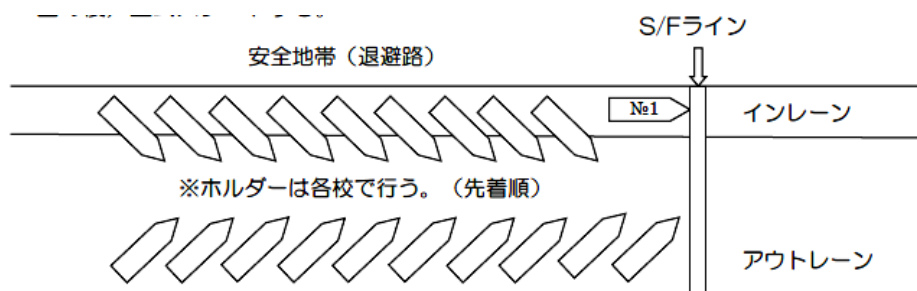
- (1) 発走機（スターティング・マシーン）使用種目
男女TT, 3kmIP, TSPおよび4kmTPの第1走者
※なおタイムトライアルと3kmIPについてはカウントダウンを30秒とする。

(2) ホルダー

スプリント1／8決勝以降およびスクラッチ、ポイント・レースのホルダーは各チームで行い、その他の種目は競技役員が行う。ただし、ホルダーを準備できない場合は発走員に申し出る

(3) ポイント・レースおよびスクラッチ

スタート位置は下図を参考にする。選手は安全地帯（退避路）で乗車し、各チームのホルダーに支えられた状態で発走員の指示により先着順でスタート位置に着く。スタートリストの前半選手がインレーン側、後半の選手がアウトレーン側とし、ヘルメット・カバーがNo.1の選手は、インレーンの先頭からスタートする。1周回の競技外周回の後、正式スタートする。



6. ケイリン

(1) ケイリンの周回数は5周回、残り1. 5周回のバックストレッチ付近でペーサは離脱する。

なお、離脱時のスピードは男子が50 km/h、女子が45 km/hとする。

7. 3 km IP・4 km TP

(1) 予選はタイム・レースとして実施する。選手（チーム）が追い抜かれそうな場合は先頭交代を禁止し、追い抜きが完了するまで体制を保ち走行する。追走した場合は失格とする。

(2) 予選ラウンドにおいては、追抜かれた選手（チーム）も完走する。

8. 勝ち上がり方法

(1) スプリント

予選はタイム上位12名を勝ち上がりとして選出する。競技順は、1／8決勝、1／8決勝敗者復活戦、1／4決勝（以後5～8位決定戦以外2回戦制）、1／2決勝、順位決定戦とする。

(2) 4 km速度競走

各組予選（組数5）より上位4名を選出し、準決勝（2組）を行う。準決勝は各組より上位5名を選出し、決勝戦（10名）を行う。

(3) ポイント・レース（男子：予選16 km・決勝24 km 女子：決勝12 km）

男子：各組予選（組数2）より上位10名を選出し、決勝戦（20名）を行う。

女子：決勝戦（17名）のみを行う。

(4) ケイリン

男子：1回戦（組数8）は6～7名の選手により競技を行う。各組上位2名を2回戦に選出する。

1回戦敗者により敗者復活戦（組数6）を行い、上位2名を2回戦に選出する。2回戦（組数4）は6～7名の選手で競技を行い、上位3名を準決勝へ選出する。準決勝（組数2）より上位3名を決勝へ、下位3名を7～12位決定戦へ選出し、1位から8位までの入賞選手を決定する。

女子：1回戦（組数2）は6名の選手により競技を行う。各組上位3名を決勝へ、4～6位の選手を7～12位決定戦へ選出し、1位から8位までの入賞選手を決定する。

（5）スクラッチ（男子：予選6km・決勝8km 女子：決勝6km）

男子：各組予選（組数3）より上位6名を選出し、決勝戦（18名）を行う。

女子：決勝戦（19名）のみを行う。

9. ギア比について

（1）U17のカテゴリーに該当する選手のギア比制限は、ジュニアのカテゴリーを適用する。

（2）ギア比チェックは、上位入賞者およびランダムに選出された対象者に対し実施する。競技終了後のギア比チェックはバンク内で行うため、対象者は速やかにチェックを受ける。

10. バンク内での指示

走路内からの指示は出来ない。ただし、パーシュート種目、タイムトライアル種目について1コーナーと3コーナーにある指定されたエリアでの指示を1名のみ認める。

11. 種目別表彰

トラック・レースの表彰は、大型テント広場内特設表彰会場において実施する。対象競技者は、指定された時間の15分前までに登録されたジャージ着用で、入賞選手集合場所（参加案内参照）に集まること。なお、団体種目の1位～3位は出走者全員、4位～8位は代表者1名が参加のこと。

12. その他

（1）4kmTPにおいて、全国高校総体出場権を獲得以降にアクシデントによって4名の競技者での出走が出来ない場合は、総務委員長に申請し3名の競技者での出走許可を得ること。

（2）ホーム、バックからの同時スタート種目では、欠場があっても発走組は変更しない。しかし、欠場が多数ある場合はこの限りではない。

（3）機材の搬入搬出は、競技場バック側階段より行うこと。

ロード・レース

1. 予備登録選手への変更

所定の用紙で総務委員長へ申請すること。（補欠選手への変更は認められない。）

（1）受付日時 8月8日（金）13:00～16:00

（2）受付場所 境川自転車競技場 大会本部（参加案内参照）

2. 招集・検車

（1）日時 8月9日（土）7:50～8:40

（2）場所 笛吹市役所八代支所内（参加案内参照）

（3）要領 招集所で装備の確認と自転車の検査・チップの検査と動作テストを受け、サイン・シートに氏名を記入する。

ギア比チェックは上位完走者にフィニッシュ後実施する。（8. ギア比について参照）

3. スタート時刻

9:00 (選手は15分前に集合)

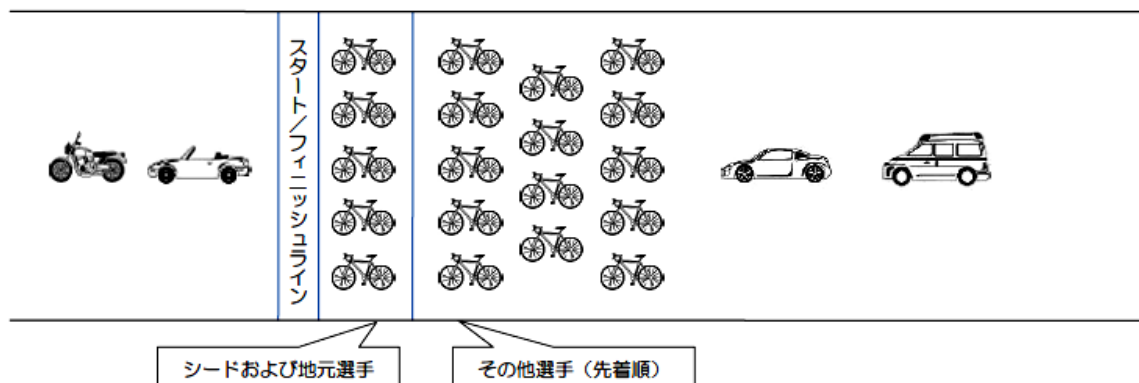
4. スタート位置

前年度の高校総体、選抜大会入賞者および国民体育大会入賞選手はシード選手として最前列に位置する。その横には開催地競技者とし、その他の競技者は2列目以降先着順とする。(下図参照)

【シード選手】

- | | |
|------------------------|-------------------|
| #1 小山貴大 (前橋育英3年) | #2 石上優大 (横浜2年) |
| #3 草場啓吾 (北桑田3年) | #4 古田 潤 (昭和一学園3年) |
| #5 橋詰 丈 (昭和一学園3年) | #6 孫崎大樹 (北桑田3年) |
| #7 高橋 優斗 (日出陽谷・日出総合3年) | #8 直井 駿太 (取手一3年) |
| #9 沢田桂太郎 (東北2年) | #10 野本 空 (松山工3年) |
| #11 武智気吹 (松山中央3年) | |

※本年度のシード選手は黄色地に赤文字のゼッケン(1~11番)を使用する。



5. 距離およびスタート方式について

1周 12.6km × 8周回 計100.8km

6. 山岳賞について

補給所手前に山岳ポイントを設定する。(該当周回は4・5・6)

7. 補給所

以下の要領で各チームからの選手への補給を認める。

- 補給エリア・・・ふるさと公園の進行方向右側のみ認める。
補給エリアの始点および終点は看板により明示する。
ボトルおよび補給を置く場所は補給エリアのみとする。
- 補給員数・・・人数はロードレース参加選手を上限とし、補給員は補給員用のIDカードを必ず着用のこと。
- 補給周回・・・5周回目から7周回目までとする。
気象条件により変更する場合はコミュニケで掲示する。
- 補給員移動・・・補給エリアへは実行委員会が準備するシャトルバスを利用すること。

8. 関門所での打ち切り

- (1) 関門所・・・スタート／フィニッシュ地点に関門所を設置する。
- (2) 打ち切り・・・各周回8位選手を含む集団から5分遅れた競技者を失格とする。ただし、レースの状況により、相当時間の遅れが見込まれる選手も同様とする。失格となった競技者は、ボディ・ナンバー1枚、計測チップを外し、関門審判員に渡す。なお、最終周回においても打ち切りを行う。

9. 機材サポートとインフォメーション

- (1) ニュートラル・カー（2台）、ニュートラルバイク（1台）インフォメーション・バイク（2台）を主催者で準備する。
- (2) チームスタッフからの機材補給は認めない。
- (3) 提供を受けた機材の返却は、選手招集所・自転車検査所へフィニッシュ後直ちに返却し、各自の車輪と交換すること。

10. ギア比について

- (1) U17のカテゴリーに該当する選手のギア比制限は、ジュニアのカテゴリーを適用する。
- (2) フィニッシュした選手は、「選手村入口」付近のギア比チェック所（参加案内参照）において競技役員誘導に従い、ギア比チェックを受けること。（上位20位程度）

11. 計測チップの配付および返却

- (1) 配付日時 8月8日（金）13:00～14:00
- (2) 配付場所 境川自転車競技場バック招集所
- (3) 返却日時 8月9日（土）レース終了後
- (4) 返却場所 選手村入口付近
- (5) その他 計測チップを紛失・破損した場合は実費請求することもある。

12. 表彰式

- (1) 開始予定時刻 8月9日（土）13:00～
- (2) 会場 笛吹市八代総合会館
- (3) 関係者の参加 表彰式へは保護者・応援者も参加することができる。

13. その他

- (1) 選手・監督の車両は八代中央スポーツ広場臨時駐車場へ、保護者ならびに一般観戦者の車両は所定の場所へ駐車すること。
こと。-
- (2) 競技観戦の際は、役員・係員の指示に従い、走路へ進入・横断しないように各チームより保護者等へ事前に周知徹底すること。
- (3) 関係者は常に熱中症対策に心がけること。